

# 令和4年度 学校評価(最終評価)報告

令和4年度門前中学校学校評価(最終評価)を公開いたします。学校からのアンケートの結果報告と自己評価・分析と改善策を示しました。学校関係者評価委員の皆様からは多くのご示唆を頂きました。残りの3学期と次年度の学校運営に反映して参りたいと思います。以下にまとめたものを報告いたします。

重点目標	中間評価→最終評価	分 析
確かな 学力の育成	A → A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが学習に対して意欲的であると感じている保護者の割合は78%に増加した。</li> <li>・授業とリンクした予習・復習の課題の提出では、自学ノート(あすなろ)に取り組み予習や復習をしている。教師が意図して授業と関連付けた課題を出していないと回答した教員の割合が71.4%に減少した。</li> <li>・新聞や本を通して活字に慣れ親しんでいると回答した生徒の割合は63.0%に減少した。</li> </ul>
委員から		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は家庭学習などで予習復習をしているだろうが、取組が不十分なのか何か原因があるのか。</li> <li>・学校や家庭で新聞や本を通して活字に親しむでは、北國新聞の地鳴りに生徒の投稿が載っているが、それ以外では活字に親しんだりすることはないのか</li> </ul>
改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末や休日にはクロムブックを持ち帰らせ Qubena による予習や復習の取組をさらに推し進め、授業とのつながりを意識した予習や復習を出すよう、校内研修で教員にも再度、確認する。</li> <li>・図書館司書が本のポップを作ったり、国語科や生徒会では集会で読書の推奨をしたり、外部講師による本の紹介をしたりしている。本を借りている状況を集会で示している。北國デジタル新聞を朝読書の時間に学年ごとに読ませている。新聞の読む場所を指定するなどして、継続した取組みで、活字への親しみ培っていく。</li> </ul>

重点目標	中間評価→最終評価	分 析
豊かな 心の育成	A → A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからのことについて考えたり、親と話をしたりなど、将来について考えたという回答が生徒も保護者も増加した。</li> <li>・挨拶がしっかりとできていると回答した保護者の割合がやや減った。</li> </ul>
委員から		<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活に生かす部活動指導で教員の評価が大きく下がっているが、どうなのか？</li> </ul>
改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外を問わず進んで挨拶するよう、集会等で継続して話をする。</li> <li>・日常的なことなど教えるべきことは指導するとともに、指導者の方と情報交換をする中で、連携して部活動指導を進めていく。</li> </ul>

重点目標	中間評価→最終評価	分 析
健やかな 体の育成	B → B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や運動能力の向上や耐える力の向上を図っていると回答した教員の割合がやや減少した。</li> <li>・家庭でゲームやPCを使用するときのきまりを守っていると回答した生徒の割合はかなり増加したが、保護者との回答には大きな開きがある。</li> </ul>
委員から		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力・運動能力の向上について教員の評価がやや低くなっているが？</li> <li>・メディア機器使用のきまりについて「家庭のきまりを作り、それを守っている」と回答した保護者の数値が低いのはどういうことなのか？</li> </ul>
改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や運動能力の向上については、部活動の連取を計画的に進めることで、時期に応じたメニュー（体力アップ期間・基礎プレー習得期間など）を取り入れながら生徒の体力や忍耐力の増進に努める。</li> <li>・2学期に家庭のルールとそのチェック方法も考えてもらった経緯がある。生徒と保護者で、共通の認識を持ってほしい。そのためにも保護者へは学校だより等を通して、生徒には集会等を通して共通の認識のもとに、家庭での使用のきまりやチェック方法をもう一度確認してもらい適切な使い方を心掛けてもらう。</li> </ul>

重点目標	中間評価→最終評価	分 析
信頼される 学校づくり	A → A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの項目も良く、保護者が「信頼できる先生がいる」という項目が良くなっている。地道な取組を継続して進めていく。</li> </ul>

重点目標	中間評価→最終評価	分 析
組織的な 学校づくり	A → A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種たよりを通じた情報発信をしていると回答した教員の割合が減少している。</li> </ul>
改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・便り等の定期的な情報発信だけでなく、保護者とのこまめなやりとりを通して良好な関係を保つよう努める。</li> </ul>